

平成23年10月7日

平成23年度 名古屋地区事故災害復旧訓練の実施について

近鉄では、10月12日（水）、富吉車庫にて事故災害復旧訓練を実施します。この訓練は、万一事故や災害が発生した場合に、迅速な対応が行えるよう毎年実施しているもので、今年は東海沖で震度6弱の地震が発生し大津波警報が発令されたという想定で行います。

記

1. 目的 重大な運転事故が発生した場合におけるお客様の救護・救出、車両、線路の応急処置および復旧を的確かつ円滑に行うことを目的としています。
2. 実施日時 平成23年10月12日（水）10時00分から12時30分まで
3. 実施場所 富吉車庫（愛知県海部郡蟹江町大字蟹江新田字与太郎18-5）
4. 想定
 - ・10時19分頃、東海沖で地震が発生し、運転指令室に設置の地震計が震度6弱を記録。三重県南部、伊勢三河湾に大津波警報が発令された。
 - ・当該列車は名古屋線の佐古木駅～富吉駅間を4両編成で運転中、地震を感知し急停止の処置を執ったが、先頭車両の台車2軸（第1軸、第2軸）が脱線した。
 - ・乗客約100名のうち5名が重傷、20名が軽傷を負った。
 - ・約2時間後に2メートルの津波が到達すると発表されたため、乗務員は津波到達までにお客様の避難誘導を開始。重傷者はレスキュー隊や警察により救出。
 - ・翌日、大津波警報が解除され、脱線、電線路などを復旧。
当該列車は自力運転不能のため、軌道モーターカーと連結し、富吉駅に収容。
5. 訓練項目
 - （1）地震感知時の運転士の停止処置
 - （2）お客様および線路などの状態の把握ならびに運転指令者への状況速報
 - （3）各部門におけるお客様の救護・救出と復旧作業
6. 訓練参加者および見学者
 - （1）参加者：常務取締役 名古屋輸送統括部長 三輪 隆 以下約100名
蟹江警察署 7名
蟹江町消防署 11名
 - （2）見学者：各部門から 約150名

以上